



## 平和の集い「青少年ピースフォーラム報告会」 「地球のステージ MATSUDO 2021」開催

松戸市では、悲惨な戦争を風化させることなく次の世代に継承するとともに、改めて平和の尊さを認識していただくイベントとして「平和の集い」を開催します。

「青少年ピースフォーラム報告会」では、オンラインで開催された長崎市主催の青少年ピースフォーラムに参加した市内中学生が、平和学習や全国の同年代の参加者との意見交換を通して学んだこと、感じたことなどの報告を行います。

「地球のステージ MATSUDO 2021」では、世界中を巡り医療支援活動を続ける現役医師の桑山紀彦氏が来場者に平和の尊さを認識していただけるよう、世界で現実に行き起きている紛争、災害、貧困に生きる人々の状況を映像、語り、そして音楽を組み合わせたコンサートステージにてお伝えします。

- 日時 令和3年11月28日（日）開場12時30分  
13時00分～ 青少年ピースフォーラム報告会  
13時20分～ 地球のステージ MATSUDO 2021

●会場 松戸市民劇場ホール（松戸市本町11番地の6）

●定員 先着130人 ※申込み不要

### ●公演者プロフィール

#### NPO 法人地球のステージ代表理事・桑山紀彦氏

これまでタイ-カンボジア国境の難民キャンプを皮切りに、湾岸戦争後のイラク、ソマリア、旧ユーゴスラビア、カンボジア、東ティモールなどで医療救援活動を行っている医師。現在も年に数回、東ティモールやパレスチナで医療支援活動を展開している他、地震等の緊急医療救援、



被災者の心のケアにも携わっています。東日本大震災では自ら被災しながらも、震災翌日から2カ月間、24時間の診療体制で診療を行いました。その後はみなさんに寄り添いながら日々「心のケア」に携わってきました。現在は神奈川県海老名市にある「海老名こころのクリニック」の院長として、日々の診療にあたっています。

### 【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市総務部総務課 ☎047-366-7305

FAX047-363-3200 ✉ [mcsoumu@city.matsudo.chiba.jp](mailto:mcsoumu@city.matsudo.chiba.jp)

# 地球のステージ

紛争・災害・貧困の地でたくましく生きる子どもたちの姿を、世界中を巡り医療ボランティアを続ける桑山氏が**音楽**と**映像**と**語り**で伝えます。

## 11月28日（日）

開演 13:00 青少年ピースフォーラム  
(オンライン版) 報告会

13:20 地球のステージ MATSUDO 2021



桑山 紀彦 氏

開場 12:30 / 終演 15:30

会場：松戸市民劇場 費用：無料

定員：先着130人（予約不要）

※ 手話通訳・要約筆記あり

青少年ピースフォーラム（オンライン版）とは？  
全国の自治体が派遣する青少年と長崎市の青少年と一緒に被爆の実相や平和の尊さを学習し交流を深め、平和意識の高揚を図ることを目的とした催しで、今回は参加した松戸市中学生の報告を行います。



新型コロナウイルス感染症対策のため、定員や内容などが変更となる場合がございます。予めご了承ください。  
最新の情報や感染対策は市ホームページをご覧ください。→





## ○ 公演者プロフィール

### NPO法人 地球のステージ代表理事 桑山 紀彦 氏

これまでタイ - カンボジア国境の難民キャンプを皮切りに、湾岸戦争後のイラク、ソマリア、旧ユーゴスラビア、カンボジア、東ティモールなどで医療救援活動をしている医師。現在も年に数回、東ティモールやパレスチナで医療支援活動を展開しているほか、地震等の緊急医療救援、被災者の心のケアにも携わっています。

東日本大震災では自ら被災しながらも、震災翌日から2ヶ月間、24時間の診療体制で診療を行いました。その後はみなさんに寄り添いながら日々「心のケア」に携わってきました。現在は神奈川県海老名市にある「海老名こころのクリニック」の院長として、日々の診療にあたっています。



## ○ 公演内容

### 1. オープニング～「国境を越えて」

### 2. アフガニスタン篇～「遠き東へ」

長く戦争が続いたアフガニスタン。そこにも普通に暮らす人々の営みがあります。工夫しながら懸命に生きる子どもたちの姿から、生きていくことの意味とは何かを考えていきます。



### 3. ガザ50日戦争篇～「落日の果て」

2014年7月に始まったガザ空爆。50日続いた戦争は、多くの人々の「人間らしく生きる権利」を奪っていきました。そしてまた2021年5月、イスラエル軍による空爆で多くの人が命を失いました。それでも負けずに前に進もうとしているガザの人々の生き様をお伝えします。

### 4. ミャンマー篇～「月光の龍」

少数民族パオ族のある女性との出会いが、ミャンマーについて深く知るきっかけとなりました。困難や不便が多く決して快適な生活ではありませんが、そこに暮らす人々の表情に「心の豊かさ」を感じました。「本当の豊かさって何だろう？」そう問いかけられます。

### 5. 東日本大震災篇～「あの街へ」

2011年の東日本大震災から10年。震災直後に心のケアを受けた少女がどう成長したのか、インタビューもまじえて被災地の今を伝えます。

### 6. ゼロ戦と大地篇～「この国へ」

平和であるということは、自分で自分の道を決めていける自由があるということ。今の平和は先人の様々な犠牲の上に成り立っているものであり、日々「平和」であることのありがたさを感じ取っていくことの大切さを伝えます。



### 7. 故郷篇～「ねがい」

日本の風景を折り込んで、自分の暮らしているこの足もとを振り返ります。

### 8. エンディング

※会場内換気のため、公演の途中で休憩時間を設ける予定です。